

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

不登校児童生徒支援（DX活用等）事業

事業の経過・背景・課題

不登校児童生徒及び教室以外の場所に登校している児童生徒については、年々増加傾向にあり、早期発見・未然防止を図るため、スクールカウンセラーによる相談対応や教育支援センター等関係機関と連携するなど、各学校において丁寧に対応しているところ。教室以外の別室運営については、授業の空いている教員が対応するなど、日によって対応者が異なるため、コミュニケーションが苦手な児童生徒にとっては心理的負担が大きい。

取組内容

交付実績額： 5,089 千円

〔学校内の居場所づくり〕

- ・小学校5校と中学校1校に支援員を配置し、「**校内教育支援センター**」を新設
- ・1日の取組や学習内容、時間割を生徒自身が主体的に決定したり、支援員等との関わりを通して、小さな成功体験を積み重ねて「自己肯定感」や「自己有用感」を育む
- ・教育支援センターに新たに発足した「不登校研究部門」において、学校内の居場所づくりの事例等も踏まえ、不登校の実態把握を行い、子どもの多様性に対応した授業の工夫や支援の在り方について研究

〔心と体の健康観察アプリ試行導入〕

- ・一部の小中学校において、試行的に1人1台端末に「心と体の健康観察アプリ」を導入
- ・毎朝児童生徒が自分の状態を記録し、自身の好不調の傾向を確認
- ・早期対応すべき児童生徒の情報を学校内でのチーム支援に活用

▶ 「心と体の健康観察アプリ」

※児童生徒が心の状態を入力する画面



事業の成果・今後の展望等

- 学校内の居場所づくりについて、「決められた曜日、時間に支援員が常駐することで、学校に通いやすくなった。」「表情が明るくなった。」「コミュニケーションが増えた。」等の成果がみられた。
- 心と体の健康観察アプリ試行導入について、「心の状態が良くないと回答した生徒に声掛けをして悩みを聞き出すことができた。」「個々の生徒の状況がよりわかるようになり、適切な支援につながった。」等の成果がみられた。
- 引き続き不登校児童生徒等の教育機会を確保し、社会的自立を目指した支援策の更なる拡充、個に応じた支援をより一層推進するとともに、心と体の健康観察アプリについては、全小中学校で正式導入を目指す。

問い合わせ先

長岡京市教育委員会教育支援センター（075-963-5516）